



IoT で激変する未来 (3月のごあいさつ)

平成 29 年 3 月 1 日 (水)

3月になると、春の中の沖繩の夏に何度も出会います。

昨年 11 月に IT コーディネータの全国大会 **ITC カンファレンス 2016** に参加してきた。毎年 1 回の開催で、もう 15 回にもなると思う。2 日間のカンファレンスに参加すると IT による世の中の変化を感じる。登壇される講演者や発表者は、毎年 10 名以上にものぼる。統一のテーマについて、それぞれの分野のエキスパートの講演等を聴くことができる。今回のテーマは“**IoT で広がる未来**”であった。

今回特に印象的だったのは、モノから出る情報をキャッチして、モノのメンテナンスや補強に活用するという話であった。**カナダの遊園地にある巨大な 3 基のエレベータ**に多数の**センサー**を取付けて、センサーから出て来る膨大なデータを記録し、解析して、エレベータの運転状態を把握する例である。まん中のエレベータに部品の摩擦や異常が起きており、交換の必要性があるという情報を東京の会社で把握してカナダのエレベータ会社へ送り、現地でメンテナンスを行う。**センサー**をモノのそこら中に付ければ**膨大な生のデータ**が得られて、現場の状況に対処できる。

広告の役割が変化している。マスメディアの広告収入が激変しつつある。マスメディア時代の広告は、かつて消費者に商品知識を提供していた。インターネット時代になると消費者は広告に頼る割合が減り、ソーシャル時代には、多くの消費者は広告に頼らなくなった。マスメディアという最先端の業界は、最先端の技術の変化により、根本的な体質改革に迫られている。

(マスメディア時代) (インターネット時代) (ソーシャル時代)

○ 広 告

○ 広 告

○

未来が目の前に現れつつあるのか。IoT(Internet of Things)、あらゆるモノがインターネットにつながり、膨大な情報の収集、ウェブビッグデータは今や当たり前になる。そして収集された情報を解析して、分析して、予測精度を高めどのように活用するか、非常に強い**インパクト**を感じる。企業経営における競争環境がガラリと変化する。IoT が加速するデジタル革命が、**完全自動運転**や**第四次産業革命**となって全世界にイノベーションをもたらそうとしている。